



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

…会員随時募集中！…

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内 TEL/FAX：0467-47-1164 木曜を除く10時～16時
 Web URL：<http://www1.ocn.ne.jp/~ya-yato/> E メールアドレス：ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

りよく 「かながわ力大賞」を受賞

このたび、公益社団法人・日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会が主催する「かながわ力大賞」の最優秀賞を受賞しました。これは、神奈川県内で環境問題に取り組んでいる市民団体を表彰するためのコンクールで、応募 41 団体の中から書類審査、プレゼンテーションを経て選ばれました。

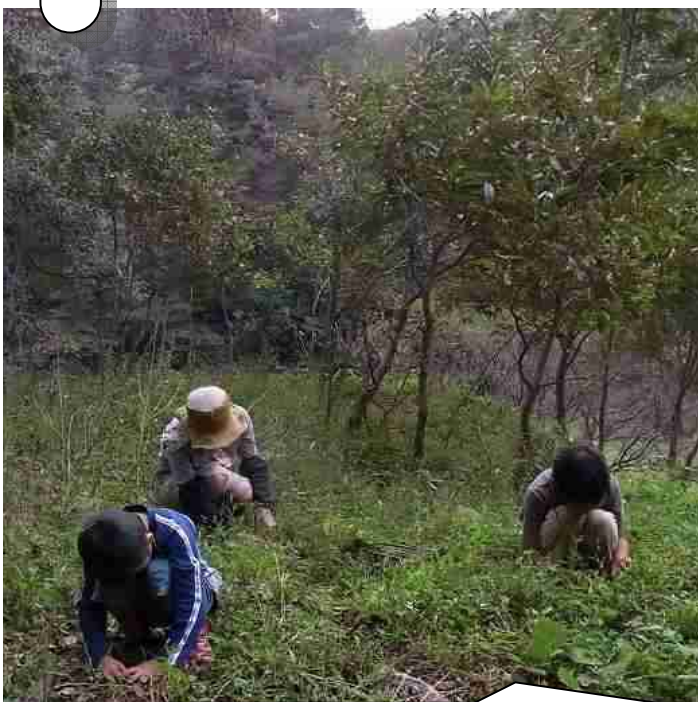
受賞理由は、「将来への展望や地域の成長に寄与する見込みがあると判断した」というものでした。



写真：「タウンニュース」より

もくじ

☆特集・生態系保全班・植物育成班→2・3p ☆各班からのお知らせ→4p ☆谷戸往来→5p ☆11～1月の日程表(裏表紙)



植物育成班の活動。シイの木をどんぐりから育てたり(写真右の数本)、絶滅の恐れのある身近な野草を種から増やしたりしています。(詳細は次ページ)

谷戸の生態系・植物Q & A

知りたがりのミオちゃん（小学生）が、谷戸おじさん（生態系保全班）たちに聞きました。

ミオちゃん「おじさんたちは、水曜日に谷戸でいろいろやってるよね。田んぼや畑じゃなく、草むらや川に入って何をやっているの？ いつも草や虫を見ながら歩いているね。」

谷戸おじさん「生きものの種類や数を調べて環境省に報告したり、田んぼや畑の周りの自然を手入れして、生きものがすみやすいようにしているんだ。」



ミオちゃん「何でそんなことを始めたの？」

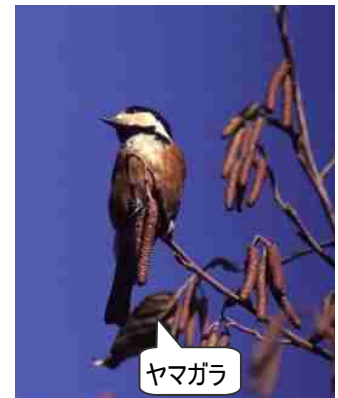
谷戸おじさん「おじさんが若いころ、谷戸に来たら、生きものがたくさんいて驚いたよ。その谷戸が公園なので、何とか生きものを守る方法はないかと思って、ずっと観察や作業をしていたんだ。」

ミオちゃん「何がわかったの？ どんな生きものがいるの？」

谷戸おじさん「ゲンジボタルとヘイケボタルの両方が見られること。カエルが7種類もいること。トンボやバッタ、コオロギの種類も多いんだ。今の鎌倉では数少なくなった里山の生きものが田んぼや畑でたくさん生まれて、周りに広がっていることがわかったよ。」

ミオちゃん「そうか、田んぼや畑に入ったら虫がたくさんとれそう。ミオも入ってみたいなー。」

谷戸おじさん「知らない人が入ったら、田んぼや畑がこわれちゃうから、昔から田んぼや畑に勝手に入っては駄目って言われているよ。それに生きものが生まれる場所でたくさん捕まえちゃったら、生きものがいなくなるかもしれないでしょ。広場や水路で生きものと遊んでね。」



ヤマガラ

ミオちゃん「広場や川の周りは草が茂っていて、こわいなー。」

谷戸おじさん「でも、時々草刈りをしてきているでしょ。田んぼや畑で増えた生きものが隠られるように草が茂っていた方がよい場所もあるんだよ。それに、田んぼや畑の周りの環境も放っておくと変わっていくから、手入れをしている場所もあるんだ。」

ミオちゃん「田んぼや畑の周りの手入れって何？ 草がぼうぼう茂っている所のこと？」

谷戸おじさん「湿地や水路とか、草が茂っている場所もいろいろあるんだ。鎌倉ではほとんど見られない貴重な環境もあるけど、田畑と違って、どうやって手入れすればいいのかはわかっていないんだ。」

ミオちゃん「草とかは、全部刈っちゃったらどうなるの？」

谷戸おじさん「何年も観察してみたら、刈ってもいい場所、つる草だけ取る場所、刈らないほうがよい場所があることがわかってきたよ。」

ミオちゃん「ふーん、何か難しそうだね。」

谷戸おじさん「間違えて刈ってしまったって、すぐに気づけばまた生えてくるからあまり心配ないよ。」



コガネグモ

ミオちゃん「よく観察しているんだね、谷戸の生きものは減っているの？」

谷戸おじさん「減った生きものはあるけど、その原因はよくわからないことが多いね。でも大部分の生きものはそれほど減っていないことがわかってきた。生きものの数を調べることは、とても手間がかかるんだ。5年くらい続けて調べないと本当のことはわからない。とりあえず、田んぼや畑を昔どおりの方法でやっていけば、ほとんどの生きものは守れそうだね。」

ミオちゃん「じゃあ、生きもののことを知らなくても、ここの田んぼや畑に来れば、生きものを守ったりできるの？」

谷戸おじさん「その通りだよ。でも生きものを知っている人が増えればもっと嬉しいね。」

ミオちゃん「それで、虫や花や鳥の観察会をやっているの？ でもあの人たちは田んぼや畑に来ないようだけど。」

谷戸おじさん「谷戸が好きな人が増えればいいなと思って、やっているんだ。観察会がきっかけで、谷戸に通ってくるようになる人もいる。観察した情報を教えてくれる人もいるよ。」

ミオちゃん「悪い人は来ないの？」

菊田さん「昔から、野草を持っていく人がいるね。注意しようと思っても捕まらないし…。」

ミオちゃん「みんなで、手入れをしていけば、また生えてくるでしょ。」

菊田さん「それがね、きれいな花が咲く野草は簡単に増えないものが多い。その代わりに、一度咲くと何十年も咲き続けたりするよ。」

ミオちゃん「持って行かれたらなくなっちゃうね。そんなの嫌だよ。」

菊田さん「それでね、植物育成班を作って、減ってきた野草を絶やさないう、畑で野草の苗を栽培することにしたんだ。」

ミオちゃん「へー、野草って育てられるんだね。でも、種はどうしているの？ お花屋さんで買ってくればいいんだね。いろいろな種類もあるし簡単だよ。」

菊田さん「それがね、そんなわけにはいかないんだ。土地の物を大切にしたいから、花が咲いて種になったら集めるんだ。それを野草畑に蒔いて大きくなるのを待つんだよ。野菜だと数カ月で収穫ができるけど、野草はそんなわけにはいかないよ。3年以上ゆっくりゆっくり待つて、大きくて、たくましくならないと植えられない。だから増やすのは大変なことなんだよ。」



数年かけて育てたワレモコウ(左2年、右3年)

ミオちゃん「そうなんだ。いろいろわかった。私も谷戸の生きものを大切にしま～す！」



生態系保全班 ★モニタリング1000カヤネズミ調査 11/6 (日)

★野鳥観察 11/23 (木・祝)

カヤネズミの巣や渡り鳥を一緒に探しましょう。個体差がわかるかもしれません。



植物育成班 ★湿地の手入れ作業 11/16 (水)

湿地にしかない花が来年もたくさん咲くように手入れをします。

各班からのお知らせ



田んぼ班 ★11/3 (木・祝) 籾干し

★6(日)、13(日) 籾干し・籾すり ★20(日) 籾すり・精米

今年も無事に稲刈りが終わりました。頭を深く下げてお辞儀をしているように穂先を垂れていた稲たち。ただ今、はさにかけて乾燥中。10月29日(土)・30日(日)には脱穀です。後は籾干し・籾すりが終わればよいよ精米。みなさんお馴染みのお米になります。あとひと踏ん張り！ 秋の谷戸まつりで、私たちの育てた新米をぜひ味わってみてください。

はさがけのお手伝い



畑班

★11/6(日) 小麦の種蒔き・たまねぎの移植 ★13(日) 落花生の収穫・さつまいもの洞入れ
★20(日) たのくろ豆の収穫・吊るし干し ★27(日) さといも掘り・種芋の洞入れ



小麦の種蒔き

台風15号による畑の作物への影響は大なり小なりありましたが、それぞれに実りの秋を迎えました。そばもごまも倒れそうになりながらも踏ん張り予想以上の収量でした。11月に入ると早くも小麦の種蒔きです。それから落花生、たのくろ豆、さといもの収穫が続きます。日頃の畑作業の汗と涙の結晶のような収穫物を、秋の谷戸まつりの谷戸鍋でみなさんに美味しく食べていただけるよう、もうひと頑張りです。ご一緒にいかがですか？



雑木林管理班

★11/3 (木・祝) 雑木林の除間伐 ★13(日)、20(日) 除間伐

稲刈り、脱穀も終わり、農閑期の雑木林管理活動が開始します。今年、台風被害による倒木の処理から活動しています。

鎌倉の里山は、鎌倉石(砂岩)からできており表土が薄いため、木が大きくなると強風による倒壊の危険が増えます。今年の台風15号では、エノキの枝が折れ、樹高15mほどのコナラが根返りし、また多数の枝が折れてぶら下がっています。順次危険な樹木から処理しています。



農芸班

★11/25 (金) たのくろ豆の殻出し

谷戸味噌の原料たのくろ豆を、サヤから出す作業を行います。昔ながらの足踏み脱穀機での殻出しを、ぜひ、体験してみませんか。



製粉した小麦をさらにふるいにかけます



自然遊び班

★11/3 (木・祝) ども里山一日体験

「昔の道具でお米の脱穀」

地方の方より譲り受けた昔の道具で、脱穀します。秋の実りを体験しませんか？

★11/13 (日) 父と子の里山体験

「スギの木の伐採と薪作り」

雑木林に入り、のこぎりを使ったスギの木の伐採や縄を使った山仕事などを体験していただけます。落葉の始まる雑木林の中で、父子・親子でさわやかな汗を共に流しにぜひお越しください。



谷戸往來 谷戸往來 谷戸往來

横須賀「水と環境」研究会と市職員が視察訪問 10/18(火)

三浦半島の河川などの水質調査・自然観察を行っている、横須賀「水と環境」研究会が視察に訪れました。横須賀市は里山環境の創出に重点を置いているものの、次々に里山が失われているため、当会の活動を参考にしたいと市の環境企画課担当者も同行されました。当会と行政との協働による運営、日頃の活動を紹介しましたが、公園として守られている谷戸の原風景に感激しておられました。今後も交流を重ね、共に活発な里山保全活動につながることを期待したいです。



本田前にて

かまくら認知症ネットワークの「かまくら散歩」開催 10/22(土)



紙芝居上演

かまくら認知症ネットワーク主催で、認知症の方とその家族や介護従事者ら 20 名が谷戸を訪れました。ちょうど雨が上がり、当会の案内で谷戸の秋を楽しみました。稲のはさがけの続く谷戸の道、たのくろ豆やかぼちゃの実る畑、可憐な秋の草花、懐かしい秋の風景に会話も弾みました。蒸かし芋のおやつのは後は紙芝居「かっちゃんのお手伝い」を上演。肥溜めの話にはこどもの頃を思い出して笑いが起き

深小ふれあい広場、にぎわう 10/22(土)

地域の人と触れ合うPTAの企画「深小ふれあい広場」が小雨の中、開催されました。当会が担当する谷戸コーナーでは、お餅とさつまいものお味噌汁、芋づるの佃煮を600食分用意しましたが、とても大好評で「お代わりしたい」という声も。谷戸の説明・クイズもあり、みんな楽しんでくれていました。



谷戸クイズコーナー

鎌倉中央公園フェスティバル第2弾（協働開催）

秋の谷戸まつり開催

●11月27日（日）10時～14時（荒天中止）

●公園内・野外生活体験広場

●炊き出し（谷戸鍋・お餅・栗ご飯）＊お椀・箸をご持参ください。

→頒布券配布開始 11時 引換え 11時半

●展示・紙芝居上演・頒布（新米・小麦他）・体験コーナー

今年も美味しい新米、小麦、お餅、野菜を味わってください！